

< 海岸ウォークラリーの説明 >

地図とコース説明を頼りにグループ単位でコースを歩き、途中で課題を解決しながらゴールする活動。

1 道具の貸し出し

- 各班に1セット（コースガイド・地図1部、バインダー1枚、筆記用具1本）
代表の方には上記の1セットと解答

- ① 四倉コースの場合：貝箱 } この箱に、拾ってきた貝を入れる。

○ 借り受け方法

事務室より道具を受け取る。その際、**緊急時の連絡として携帯電話の番号を伝える。**



【貝箱】

2 活動の手順

- (1) 本館前の「つどいの広場」がスタート・ゴールになる。3～5分の間隔でスタートさせる。
- (2) 地図の見方を理解し、コース説明文をよく読み地図と照らし合わせながら進む。
- (3) 地図中にある○印の番号は課題の場所を示しているの、周囲を注意深く観察し班全員で協力して課題を解決する。
- (4) 終了時刻は必ず守る。課題が解けなくとも、必ず戻る。
- (5) トイレの確認（地図で確認。尚、出発前にトイレに行かせること。）
 - ① 四倉コース : 波立薬師駐車場内公衆トイレ、道の駅四倉港駐車場の公衆トイレ、船渡八幡神社近くの公衆トイレ

3 注意事項

- 車の通りが多いところも歩くので、交通ルールを守り、安全確認を常にすること。
 - ・ 歩道を歩く（道路脇の縁石にあがらない）
 - ・ 信号を守る
 - ・ 道いっぱいに広がらない
- 班ごとの活動です。まとまって歩き、みんなで課題を解決し、班全員がそろってゴールすること。
- 迷子になってしまった場合
来た道に戻るか、近くの民家の方に道順を聞く。または、電話を借りて自然の家に電話連絡する。（コース地図の中に自然の家の電話番号が書かれている。）

4 道具の返却

事務室に返却。

5 引率の方へ

次の事項について、引率者全員で確認してください。

《コース上で監視が必要なところ》

【四倉コース】

①舟戸海岸・・・波打ち際までおりて巻き貝を拾う課題があるが、崖のそばでは活動させない。

※事前に波の状況を必ず確認して、安全に活動できるようにしてください。

②6号線の太平洋健康センターから道の駅付近・・・歩道が大変狭くなります。車道と歩道の間には柵がなくなり、人1人通れる程度です。

③消防署前の横断歩道・・・国道6号線を横断します。信号機有り。

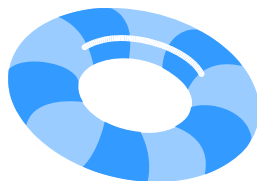


こんな時には…

☆ 所には雷センサーが設置されています。センサーが作動した場合、緊急連絡として聞きました携帯電話に連絡をします。直ちに活動をやめトイレ等屋根のあるところに避難させてください。

☆ 活動中に地震があった場合や、津波注意報等が出された場合、緊急連絡として聞きました携帯電話に連絡をします。直ちに活動をやめ少しでも高いところに避難させてください。尚、津波発生の場合は、海岸に設置されている防災行政無線により緊急放送があります。その指示に従ってください。

☆ 活動中にけが人が出たなど、緊急時には所に連絡ください。病院への連絡と紹介をします。



福島県いわき海浜自然の家
TEL 0246(32)7700